

第82回山陽新聞賞・奨励賞



「人文知」で岡山を紹介
 国際日本文化研究センター教授
磯田 道史さん(53) (京都市(岡山市出身))

文化功労

「人文知」で岡山を紹介
 国際日本文化研究センター教授の磯田道史さん(53)は、岡山を「人文知」で紹介する書籍を著し、岡山を国内外に広く紹介する功績が認められ、文化功労を受賞された。

邦楽の力を信じて活動
 作曲家
砂崎 知子さん(81) (東京都人田区(岡山市出身))

文化功労

邦楽の力を信じて活動
 作曲家の砂崎知子さん(81)は、邦楽の魅力を国内外に広く紹介する功績が認められ、文化功労を受賞された。



人々に人生ささげ42年
 社会福祉法人岡山博愛会理事長
更井 哲夫さん(76) (岡山市中区)

社会功労

人々に人生ささげ42年
 社会福祉法人岡山博愛会理事長の更井哲夫さん(76)は、42年間、社会福祉の発展に貢献する功績が認められ、社会功労を受賞された。

「役立つウイルス」追求
 岡山大資源植物科学研究所教授
鈴木 信弘さん(63) (倉敷市吉岡)

学術功労

「役立つウイルス」追求
 岡山大資源植物科学研究所教授の鈴木信弘さん(63)は、ウイルスの応用研究に貢献する功績が認められ、学術功労を受賞された。



11日に岡山市内で開かれた第82回山陽新聞賞の贈呈式。文化功労3人、社会、学術功労各2人、産業功労1人と山陽新聞奨励賞の文化部門1人1団体の計8人1団体の功績をたたえた。受賞者は喜びの表情で歩みを振り返るとともに、一層の情熱を誓った。(1面関連)

喜びの受賞者

第82回山陽新聞賞贈呈式



書で思いや感性伝える
 作家
森上 光月さん(66) (本名・福恵一(倉敷市児島駅前))

文化功労

書で思いや感性伝える
 作家の森上光月さん(66)は、読者の心に寄り添う作品を発表する功績が認められ、文化功労を受賞された。

災害や感染症 重責担う
 岡山県看護協会会長・倉敷成人病センター顧問
宮田 明美さん(75) (倉敷市田ノ)

社会功労

災害や感染症 重責担う
 岡山県看護協会会長・倉敷成人病センター顧問の宮田明美さん(75)は、災害や感染症の対応に貢献する功績が認められ、社会功労を受賞された。



「おかやま検定」を推進
 ネットヨク岡山会長・岡山県観光連盟会長
石井 清裕さん(71) (岡山市北区下石井)

産業功労

「おかやま検定」を推進
 ネットヨク岡山会長・岡山県観光連盟会長の石井清裕さん(71)は、「おかやま検定」の推進に貢献する功績が認められ、産業功労を受賞された。

茶山の功績知る機会に
 昔茶山顕彰会 福山市神辺町平野
 会長 **藤田 卓三さん(84)**

奨励賞 文化部門

茶山の功績知る機会に
 昔茶山顕彰会会長の藤田卓三さん(84)は、茶山の歴史や文化を後世に伝える功績が認められ、奨励賞を受賞された。



研究進めがん患者救う
 国立がん研究センター理事・研究所長
間野 博行さん(61) (東京都文京区(高梁市出身))

学術功労

研究進めがん患者救う
 国立がん研究センター理事・研究所長の間野博行さん(61)は、がん研究の進展に貢献する功績が認められ、学術功労を受賞された。

映画で地域つなぎたい
 映画監督
山崎 樹一郎さん(45) (真庭市久世)

奨励賞 文化部門

映画で地域つなぎたい
 映画監督の山崎樹一郎さん(45)は、地域活性化に貢献する功績が認められ、奨励賞を受賞された。

